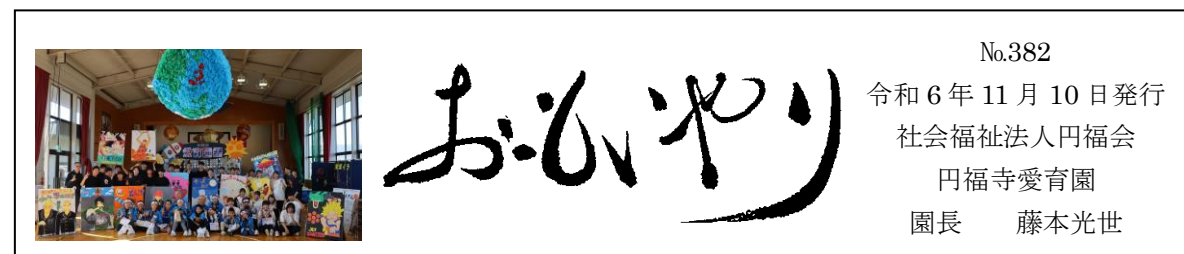


今年も秋晴れの中、愛育園祭が盛大に行われました。



素晴らしかった愛育園祭

園長 藤本光世

雲一つない好天に恵まれた11月4日に、愛育園祭を挙行することができました。おいでになっていただいた、役員の皆さま、通明小学校校長先生諸先生、篠ノ井東中学校教頭先生諸先生、地域の皆さまありがとうございました。アトラクションの会場の体育館は大賑わいで、子どもたちは大喜びでした。

お神輿、木遣り、開祭式、扇子演舞、書道パフォーマンス、そして体育館のアトラクションと、今年の愛育園祭もたいへん盛りだくさんでした。約1カ月かけて、周到に準備してくれた職員の皆さん、子どもたち、本当にありがとうございました。



図2 アトラクション会場入り口

アトラクションの会場の入り口を飾った、看板をご覧ください。どれも力作でした。看板コンテストはおいでになっていただいた皆さまと子どもたちや職員の投票によります。皆さん、どれを選ぶか迷ったでしょうね。

(令和6年11月10日発行 月刊「円福」530号付録)

今年のテーマは「星彩(せいさい)～瞬け自分!!～」でした。体育館には地球や惑星やはやぶさII号がつるされました。ステージにはプラネタリウムがありました。食事処ルミナスは、おもてなしがあり、大勢の皆さまが軽食等を楽しみました。

アトラクションを紹介しましょう。ジェットコースター。本物ですよ。電流イライラ棒。昨年から3Dに進化しました。篠ノ井軽トラ市でやったら、人だかりができるでしょう。銅パイプに触ると感電したように持ち手がビリビリ震えます。モグラたたき。大きな音が響いて、アトラクションを盛り上げました。このほかに、シューティングバスケット、射的、バターDEゴルフ、おはじきシュート、ラッキーボール投げなど、皆さん楽しんでいました。時間が大幅に超過してしまいました。本当に良かったです。

書道パフォーマンスは、ダンス付きのパフォーマンスで作品を作りました。ユニフォームを購入し作りました。今までとは大きく進化して、書かれた文字のように革命的なパフォーマンスで、皆さんを楽しませてくれました。作品も素晴らしかったです



図1 書道パフォーマンス作品

よ。毎晩遅くまで練習してくれた、まごころ中高生女子職員の皆さん、本当に素晴らしかったです。心の底から賛辞を贈ります。ありがとう。

第二部は、子どもたちと職員が食堂に移り、一堂に会して食事と看板コンテストの結果発表をしました。みんな、達成感に満ち溢れ、そしてまごころの中高生女子と調理職員が作ってお店を出してくれた、箸まき屋さん、おもち屋さん、豚汁屋さん、カリカリチーズ屋さん、アイス屋さんのお料理を楽しみました。美味しかったですよ。



図3, 4 箸まき屋さんとおもち屋さん 左は「めんたいバター」。右は「おはぎ」

看板コンテストの最優秀賞は「箸まき屋さん」でした。立体的で細かなところまで工夫した看板に皆さん投票してくださいました。最優秀に相応しい作品です。これを見た子どもたちは、来年はもっといい看板を作るでしょうね。

今、国は子どもの最善の利益は家庭的養護として、里親委託や児童養護施設の小舎制と高機能化多機能化を令和11年度の目標数値を決めて、強力に進めています。それは、子どもの愛着形成のためであり、さらに子どものパーマネンシー保障につながると考えているのでしょう。では、社会的養育に携わるそれぞれの養育者は、どのようにして愛着形成に結び付いたかわりをするのでしょうか。それは示せていないし、年長になった子どもが特定の大人と愛着を形成するのは、ほぼ不可能なのです。岡田尊司氏はその著書の中で、愛着形成は子どもが心を開くかわりの積み重ねでこそできる、と書いています。愛育園祭はまさにそのようなかわりであり、子どもの良い表情や良い変化がたくさん見られたのでした。職員はそれを喜びとして、さらに前進しましょう。職員は心をつにして、全力で、子どもの心を開く愛育祭を創ってくれました。

円福寺愛育園の集団養育万歳!!



図5 看板最優秀賞 箸まき屋さん

過去最高の愛育園祭

主任指導員 T.M

11月4日、第27回愛育園祭が行われました。

愛育園祭は感謝を伝えるお祭りです。普段子ども達を支えて下さっている役員の皆様、学校の先生方、地域の方々に感謝を伝える事を昔から大切にしています。私は、ここ数年、子ども達と一緒に「感謝を伝えるとは?」「何が一番の感謝になるのか?」という事をずっと追及してきました。おもてなしの質を上げて、アトラクションをバラエティ豊かしたり、見栄えのする発表を考えたり、そういう事に力を入れているうちにある事に気づき、それはあくまで表面的・結果的な事で、子ども達の成長した姿や前向きな様子を感じてもらえる事こそが一番喜んでもらえる事だと思ふようになりました。だって考えてみれば、最も身近に子ども達を見ている私たちの一番うれしい事が子ども達の成長を感じた時なんだから!だから愛育園祭は来て下さった方々に子ども達の成長が伝わるそんなお祭りを目指しませんかと、職員会で先生方にこのようなお話をしました。いざ準備が始まるとこんな話は必要なかったくらい、例年以上に先生方が時間も労も惜しまず、子ども達と一緒に準備を進めてくださり、そのおかげですばらしい愛育園祭にする事ができました。

ある先生は、今年のコネプトである「宇宙空間」を作り上げる為、体育館の装飾に大きな惑星を4つも作ってくれたり、それでは飽き足らず人工衛星まで作って、プラネタリウムまで作ってくれました。その先生は毎日楽しそうで、朝から晩まで作業していました。

またある先生は、子ども達が喜ぶような入場門・チケット・ポスターを製作するべく工夫を凝らした作品を仕上げてくれました。それを初めて目にした時の子ども達のワクワクと高揚した表情を見るにつけ、きっとこの先もずっと心に残っていくのだろうなと思いました。その先生は準備期間中、24時間次から次へと頭の中にアイディアや見直しが浮かんできて全然脳が休まらなかったそうです。



またまたある先生は、書道パフォーマンスに今年初めて取り入れた表現系ダンスで抜群の笑顔と堂々とした演技力を披露してくれ、子ども達や他の先生方に心強さを与えてくれました。その先生に「なんかすごいね。ちょっとくらい照れくさいみたいの無いの?」と聞いてみた所、「???」という顔で返されました。愚問だったみたいです。

経験の浅い1、2年目の先生方も、すごく積極的でした。きつと経験的にも性格的にもできない事や苦手な事もあったはずなのに一生懸命準備したり、先輩職員に質問したり、愛育園祭を通してすごく成長していました。庶務の先生も調理の先生も、

みんな愛育園祭に向けて力を合わせてくれました。

特に主任保育士の先生は、一新した書道パフォーマンス、初めて取り入れてみた女の子達が運営する飲食店(ルミナス)、この2つの指揮をとらなければなりませんでしたが、どちらも大成功に導いてくれました。しかし、普段は不安やプレッシャーを感じない。いや、感じていてもあまり外には出さない先生なのですが、今回ばかりは不安を吐露する事がありました。前例の無いことに挑戦する不安は相当だったと思いますが、見事にそのプレッシャーを跳ね除けた姿に子ども達は大きな安心感を覚えたはずです。全部終わった後に、色々聞いてみたら楽しかった話ばかり出てきて、不安を口にしていた事はもう忘れちゃっていました。流石だなあと思いました。

このように、すべての先生方の献身的な支えや、献身的を超えた自分のやりがい生きがいとしての行動によって子ども達が自然と自分の力を発揮できたり、大変な事にもどこか楽し気にチャレンジできている様子が今年の愛育園祭にはありました。結果的にパフォーマンスの部もアクションの部も飲食の部もすごくレベルアップしていました。ついでいうと、例年は何日かに分けてする片付けも、子ども達の中によっぽど充実したものがあつたのかその日のうちに全て片付け切ってしまいました。

今年のテーマは星の輝きを表す「星彩」で、サブタイトルに「瞬(またた)け自分」がついているのですが、「輝け」にせず「瞬け」にしたのはモールス信号の様に点滅しているイメージで、より自分の存在をアピールしていこうという思いがあつたからです。



日々子ども達の生活を見ている私たち職員は、子ども達が確実に成長している様子を感じています。けれど、成長する事と、成長を表現できる事は別物だと思っています。表現できる所までに行くには、自分が成長を実感して得る自信と周囲の雰囲気から自分をさらけ出しても大丈夫と思える安心感から得る自信が必要です。この2つの自信が、子ども達と先生方の間で相乗効果の様に生み出され、今までで一番最高の愛育園祭ができたと思います。

ご来園いただいた皆様に子ども達の素敵な姿を沢山見ていただけたと思っていますが、それが子ども達や私たち職員の感謝の気持ちとして受け取っていただけたら嬉しく思います。そして、

昨年の「おもいやり」にも書きましたが、すでに来年の愛育園祭に向けて、子ども達と成長の日々は始まっています。来年もその成長を存分に表現できるように頑張っていきますので、こちらを読んで下さっている皆さんも是非来年の「愛育園祭」にお越しください！

第27回愛育園祭

まごころホーム長 I・S

11月4日は天気にも恵まれ無事愛育園祭を行うことができました。今年の愛育園祭のテーマは「星彩～瞬け自分～」でした。一人一人が輝くことや、自分の持っている可能性を引き出す、といった思いも込められています。1人1人が輝けるためにはどうしたらいいかな～、と考えていたところ、毎年行っている書道パフォーマンスの形を変えてみてはどうか、とT先生よりアドバイスをもらい今年の書道パフォーマンスを一新すること



を決めました。書道パフォーマンスといったら文字を書くのはもちろん、ダンスなどを取り入れながら作品を表現することが多いですが、ダンスを人前で披露するのは子どもたちにとってハードルの高いものだと思います正直今まで避けていました。しかし、キャンプ行事で自分の殻を破りみんなの前で楽しそうに踊る高校生たちを見て、もしかしたら今のみんななら新しい書道パフォーマンスができるかもしれないと思い、提案したところ、子どもたちの反応は正直まちまちでした。今までと全く違う形でやることに不安や本当にできるのか、と思っていた子もいました。実際に練習を始めると今まで以上に難しい動きも多かったり、うまくいかない焦りもあり、私も正直このまま完成まで持っていけるか心配になりました。でも練習はみんなが真剣に取り組み、うまくいなくても投げやりにならずに毎日コツコツと努力したことでみんなの動きもよくなり、息も合うようになりようやく作品完成の兆しが見えました。それはホームのみんなも感じたようで表情がガラッと変わったのがわかりました。本番はたくさんの方々にも守られ、少し緊張しながらそんなことを感じさせないくらい堂々と発表していました。そんな姿を見てとても感動しました。子どもたちの愛育園祭の感想文を読むと、難しすぎてできないと思った、本番に間に合うか心配だった、となど本音も書かれていましたが、練習したら上達していくのがわかって楽しかったということも書いてありました。そして、やり遂げたという自信が文章を読むだけでも伝わってきました。やる前はできないと思っていたのも案外やってみたら出来るじゃん！出来たらこんなに達

成感を感じられるんだ！ということを今回の書道パフォーマンスを通してまごころ職員、児童みんなで学ぶことができました。



次に今年度初めて行った「LUMINOUS」という飲食ブースについてです。まごころの中高生を中心に来ていただいた方におもてなしができるよう飲食ブースを作りました。またルミナスのお店は駄菓子屋さんを併設されているため、準備することもたくさんありました。まず看板作りから始まり、飲食のメニュー表作りや駄菓子の買い出し、お店の装飾などやることが次から次へとあり、子どもたちも空

いた時間はすべて愛育園祭準備を当てていました。本当だったらゆっくりする時間を欲しかったと思いますが、みんな楽しそうに準備していました。ちなみにお店の看板のデザインはすべて子どもたちから出たアイディアで作りました。話しているうちにこんな感じでやりたい！

と想像を膨らませながら、来ていただいた方が楽しく過ごせるようにという思いも込めてお店の設営をしました。当日はたくさんの方が来てくれルミナスは大盛況でした。注文を取ったり、商品を提供したり、手際よく子どもたちもテキパキと動いていました。また LUMINOUS をやって一番よかったと思うことは来ていただいた方々と子どもたちがコミュニケーションをとることができたことです。書道パフォーマンスや開催宣言の感想を直接伝えていただき、子どもたちもすごく喜んでいました。温かいお言葉が子どもたちの自信となり、また頑張ろうと思える活力にも繋がったと思います。ありがとうございました。



準備から当日の運営まで大変なこともありましたが、行事を成功させようとみんなでアイディアを出し合いながら準備ができ、とても楽しい時間を子どもたちと過ごすことができました。また当日はたくさんの来賓の方々にもお越しいただきありがとうございました。

第 27 回愛育園祭

あおぞらホーム S・K

11 月 4 日、第 27 回愛育園祭が開催されました。私は今回の愛育園祭で、中学 3 年生の K 君と一緒に「もぐらたたき」のコーナーを担当しました。初めての愛育園祭ということもあり、不安を感じていましたが、K 君が様々なアイデアを出してくれたり、積極的に手伝ってくれたおかげで、無事に完成させることができました。特に看板の制作に関しては、K 君が「看板は任せて！」と言ってくれ、下書きから色塗りまで細部にこだわり、見事な看板を作り上げてくれました。その努力の結果、看板コンテストでは 2 位を獲得することができ、K 君も喜びに満ちた表情を見せてくれました。その姿を見て、私もとてもうれしい気持ちになりました。

また、木遣りでは、普段は人前で声を出すことが苦手な子どもたちが堂々と披露している姿に感心しました。

今回が初めての愛育園祭であるため、自分自身の反省点も多く感じていますが、何より子どもたちが楽しそうに過ごしている様子を見られたことが、素晴らしい経験となりました。



第 27 回愛育園祭

まごころホーム T・M

11 月 4 日に愛育園祭が行われました。今回の愛育園祭で特に印象に残ったことは 2 つあります。

1 つ目は書道パフォーマンスです。今年は今までとは違って動きがたくさんあるものに挑戦しました。お手本の映像を初めて見た時は、できたらすごいものになるという期待感と、自分がその一員としてできるのだろうかという不安感が入り混じっていました。練習を始めてしばらくはみんな不安な気持ちもありました。しかし、練習を重ねる度徐々に形になっていきました。子どもたちも主体的に動いてくれることが多く、一緒に考え、コミュニケーションをとりながら取り組んでくれました。旗を持って踊る場面があったのですが、私はなかなか上手く踊ることができず苦戦することもありましたが、子ども達に教えてもらったり、一緒に個別で練習したりしてなんとかできるようになりました。本番ではそれぞれ緊張もありましたが、とても堂々とパフォーマンスすることができました。子どもたちにとっても私自身にとっても自信に繋がる発表になったと思います。

2 つ目は露店のおもち屋さんです。私は今年初めて露店に参加しました。S ちゃん（高 3）と同じグループになり、一緒に取り組みました。今までとは違った新しい味付けを調べ、事前に試作を作ってみたり様々な準備をしました。明太バター、トッポギ風、みたらし、うぐいすきなこ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

の4種類を今回は作りました。当日は明太バターが一番人気で、何度も食べに来てくれる子も多く嬉しかったです。Sちゃんは試作の段階から積極的に動いてくれ、とても助かりました。効率的にできるよう考え、提案してくれることも多く、さすがだなと何度も思いました。今まで日常の会話はありましたが何かを一緒に取り組むことは初めてだったので、今回たくさんコミュニケーションを取ることができ距離が少し縮まった感じがして嬉しかったです。愛育園祭を通して、子ども達の新しい一面がたくさん見られました。とても思い出に残る行事になりました。

第27回愛育園祭

まごころホームK・S

11月4日に第27回愛育園祭が開かれました。

私にとって初めての愛育園祭であり、今回は「星彩～瞬け自分！！～」というテーマで行われました。このテーマに沿って当日に向け、子どもたち自身が意見を出し合って協力しながら一生懸命作り上げてきました。そのため、当日は多くの方々に来ていただきました。子どもたちが、アトラクションや飲食ブースでは笑顔で接客し、全員が盛んに楽しんでほしいという気持ちで来てくださった方々を歓迎していました。愛育園祭は大盛況となりました。

愛育園祭の全てが良い思い出になりましたが、その中でも印象に残っているのが書道パフォーマンスです。私自身初めて書道パフォーマンスに参加するということもあり、不安ばかりでした。ですが毎日の練習では、子どもたちは弱音を吐くことなく、どうしたら上手くいくのか毎日毎日試行錯誤して頑張る姿がすごく印象に残っています。そんな子どもたちの姿に自分ももっと頑張ろうと思え、子どもたちから学ぶことばかりでした。本番では、緊張もありましたが全員が今までの練習以上に成果を出し切ってやりきることができました。見に来てくださった方々からは「すごいね」と声が上がり、本当に全員で頑張ってきて良かったと改めて感じました。

この愛育園祭を通して、また一步成長した子どもたちの姿を見ることができたことと、みんなで一つのものを完成させ、成功させたことの達成感が強く感じられました。本当に素晴らしい行事になりました。



愛育園祭 あおぞら児童感想

今年の自分の係はバスケットゲームでした。昨年担当したコーヒーカップとは違い、全く新しい試みだったので、自分がこのアトラクションに振り分けられた時はとても不安でした。今年も看板コンテストは開催され、その為の絵を描いている時間はとても楽しかったです。まさか3位に入賞し、19人もの方を選んでもらってとても嬉しかったです。自分が良く出来たな

(令和6年11月10日発行 月刊「円福」530号付録)

とっていた絵が、他人からも評価されて、ちょっとだけ感激でした。また、アトラクションも最初はどうなるんだろう、と不安になりはしたものの、最終的にたくさんの人達が必死になって遊んでる姿を見て、良かったな、と思いました。正直、扇子演舞であまり声が出せなくて、残念



でした。あと、ご飯めちゃくちゃ美味でした！個人的に箸まきが良かったです。来年が最後の愛育園祭だから、来年は悔いのないようにしたいです！

(高校2年生 S・Nくん)

今年のテーマは「星彩～瞬け自分～」でした。僕は今回電流イライラ棒2が担当でした。個人的に3Dが難しいんじゃないかと思いました。それに音が鳴った時のカウントの仕方が難しくてテンパりました。でも本番当日では何とか最後まで、まわりました。僕が今回一番印象に残ったアトラクションは射的です。射的では、5発しかなく最初の4発ともはずしてしまいました。でも、最後の一発で特賞をとって、ちいかわのクッションをとりました。めちゃくちゃ興奮しました。僕は、570円福寺券で「メテオ」に行きおかしをたくさん買いました。一番多く買ったものはブタメンで、しょう油・塩・カレー味を買いました。僕は、ルミナスでチュロスを食べました。僕は、おもちのめんたいバターが一番好きでした。扇子パフォーマンスもきやりもかなり声を出してがんばりました。

(中学2年生 M・Hくん)

しゃてきで2等に当たってうれしかったです。ひこうき発射ガンをえらびました。こんど特賞をねらいたいです。たのしかったです。また、やりたいです。

(小学3年生 W・Hくん)

今日は、愛育園祭がありました。木やりは、がんばって大きい声を出せて良かったです。中高生のせんすのパフォーマンスと書道パフォーマンスは、とてもすごかったです。アトラクションでは、射的と電流イライラぼうが、とてもむずかしかったです。バスケットゲームは、大変だったけどおもしろかったです。ジェットコースターは、乗った後の口の中にボールをいれるのが、むずかしかったです。おかしは、いっぱい買えて、良かったです。ルミナスでは、オレンジジュースやとん汁などが、とてもおいしかったです。どのアトラクションも、とても楽しかったです。また、愛育園祭をやりたいです。



(小学5年生 A・Yくん)

11月4日に愛育園祭をやりました。楽しかったです。体育館でいろいろなアトラクションで遊びました。楽しかったです。しゃてきでプレオープンのときよりさがっちゃったけどもぐらたたきとかおはじきシュートとパターDE ゴルフとかはプレオープンのときよりも点数が多くてうれしかったです。とても楽しかったです。

(小学3年生 A・Aくん)

第27回愛育園祭 まごころ児童感想

11月4日に愛育園祭がありました。開会式から始まり発表の部で扇子と書道パフォーマンスを披露しました。扇子は、運動会でやったことを思い出しながらやることができました。書道パフォーマンスは、初めてだったけれど練習からしっかり集中して振付を覚えたり綺麗に書いたりできるように練習してしっかり覚えることができました。そのおかげで、本番も曲に合わせて踊ったり書いたりして良いパフォーマンスをすることができたので良かったです。

看板コンテストは、どの看板もよかったけれど、私たちの看板が一位を取ることができました。初めての看板作りだったけれど、先生たちに教わりながらとても良い作品を作ることができたので良かったです。初めての愛育園祭で中・高生はお店の方をやらなければいけなくて準備も少し大変なところもあったけれど、みんなで協力して良いお店を作ったり同じ係の人と協力して良い看板を作ったりしてとても良い愛育園祭を行うことができました。とても良い一日になりました。これからの行事も、この愛育園祭みたいにみんなで協力して良いものにできるようにしていきたいです。



(中一・Hさん)

11月4日に第27回愛育園祭がありました。これまで準備や練習を一生懸命やってきました。特に頑張ったのは、毎年恒例の「書道パフォーマンス」です。今年は少し違い、書くだけでなく動きもつ

けてやりました。振りを覚えたり書くタイミングだったりなどが難しく大変でした。また、みんなで揃えることに時間がかかりましたが、時間がある限り練習をたくさんしました。本番は、本当に良い作品ができたし、大成功だったと思っています。みんな褒めてくれて嬉しかったです。

(令和6年11月10日発行 月刊「円福」530号付録)

また今年は、まごころでお店を開きお客さんに食べ物を提供しました。私たちは、アルバイトの定員として働きました。初めてで慌ててしまったけれど楽しくできて良かったし、お客さんたちが喜んでくれたのでとても嬉しかったです。看板コンテストでは、私はアイス屋さんの看板を作って、3位に入賞することができました。頑張って作ったかいがありました。これでも、ひとつの行事が終わりましたがこれからも引き続き園の生活、学校の生活を頑張っていきたいです。

(高二・Rさん)

11月4日に、愛育園祭がありました。私が、今回の愛育園祭で一番頑張ったのは、書道パフォーマンスです。

最初に動画を見た時は、一週間で字を書いてダンスもやるなんて絶対無理だと思いました。4回目ぐらいの練習まで、曲が終わっても最後の一文字を書ききれなかったり、ダンスで真ん中に集まるところがどうしても間に合わなかったりと本番までにできるようになる気がしませんでした。でも、ちゃんと本番までにできるようになり、本番で成功できて本当に良かったです。来てくれた人もすごかったと言ってくれた人がいて嬉しかったです。

(高二・Uさん)

11月4日に、「第27回愛育園祭」が開催されました。私が今回の愛育園祭で思い出に残っていること、頑張ったことは5つあります。

1つ目は、露店の看板作りです。私は、「おもち」の担当になりました。下書きを始めた時、思った以上に大変で、色塗りを含め、当日までに間に合うか少し心配になりました。でも、T先生と協力しながらなんとか前々日に完成させることができました。看板コンテストでは、六位に入ることができて良かったです。

2つ目は、「L u m i n o u s」の看板作りです。バイトと自分の露店の看板を作るのに精一杯で、愛育園祭四日前くらいから下書きを始めました。不安しかなかったけれど、M先生にも手伝ってもらいながら納得のいくものを作ることができました。

3つ目は、書道パフォーマンスです。今年は例年とは違い、二部構成にし、ダンスや掛け声を取り入れました。最初に書道パフォーマンスの動画を見た時、一週間で作り上げることできるのかと思いました。実際にやってみても上手いかないことが多くありました。でも、みんなで意



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

見を出したくさん練習するにつれ一人一人がスムーズに動けるようになりました。当日は、振りやタイミングなどが飛ばないか不安だったけれど、今までで一番いいものができました。まごころみんなと良い作品を作ることができて良かったです。



4つ目は、開催宣言です。原稿を作ったときは、「こんな長文、絶対覚えられるわけがない」と思いました。でも、一日で覚えることができました。大勢の人の前で言えるか不安でしかありませんでした。本番は、言いながら改めて最後なんだと実感して声が震えてしまいました。最後まで間違えずに言えてよかったです。また、たくさんの人から「良かったよ」と言われて嬉しかったです。

5つ目は、今年初めてやったまごころのお店です。エプロンやネームプレートなどを用意してもらい、飲食を提供しました。私は、ひたすらご案内とオーダー取りと食べ物を運んでいました。後半は、駄菓子のレジも手伝いました。食堂での慰労会もたくさん美味しいものを食べることができて良かったです。

最後の愛育園祭は、たくさんの思い出を作ることができ、悔いなく自分を出し切ることができました。
(高三、Sさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム F・K

11月となり、肌寒い季節となりました。あおぞらホームの子どもたちは、寒さが厳しくなってくる中でも、元気に体を動かして楽しく過ごしています。

円福寺愛育園では、11月4日に第27回愛育園祭を行いました。あおぞらホームの子どもたちも愛育園祭に向けてたくさん準備を頑張っている姿が見られました。中高生は学校や部活、バイトなどがある中でも、毎日のように学校から帰ってきた放課後や夜寝るまでの時間などを使ってアトラクション作りや看板製作などに取り組み、なかには自分たちの遊ぶ時間やテレビを見る時間を削ってまで準備や手伝いをしてくれる子もいて、子どもたちの本気になって行事を作ろうという気持ちが伝わってきました。また、小学生もアトラクション作りなどはありませんが、体育館の装飾に使うお花紙をたくさん作



(令和6年11月10日発行 月刊「円福」530号付録)

ってくれていて、小学生から高校生の子どもたちみんなが一つの行事を作り上げることに協力してくれました。愛育園祭の当日も、子どもたちは扇子演舞やアトラクション運営などを非常に頑張ってくれており、お陰で来ていただいたお客様方にとっても楽しんでいただくことができ、素晴らしい愛育園祭になったと思います。また、愛育園祭が終わってからの片付けも、子どもたちはたくさん協力してくれてスムーズに終わらせることができました。今年の愛育園祭では、準備から片付けまで子どもたちの頑張りがたくさん見られた良い行事になったかと思います。

愛育園祭以外にも、10月20日にはホーム食を行いました。今回のホーム食ではチキンタツタと焼き肉ライスバーガー、シェイクをつくりました。普段は料理をすることはほとんどない子どもたちも、ホーム食で、みんなで一緒に料理を楽しみ、自分の作ったおいしい料理を食べるという中で、子どもたちも表情良く楽しんでいる姿がたくさん見られました。

肌寒い季節になりますが、あおぞらホームの子どもたちは、そのあふれるパワーで寒さも吹き飛ばしてしまうほど非常に元気に過ごしています。これから冬になっていく中で体調崩すことなくたくましく過ごしていければと思います。

まごころホームだより

まごころ保育士 T・S

先日、11月4日に「愛育園祭」が行われました。毎年恒例の書道パフォーマンスを今までにない演出で行ったり、今回はフードコートをまごころ中高生と職員で運営したりとこれまでと違った内容が多く、子どもたちもどんな愛育園祭になるんだろうと期待と心配が入り混じった雰囲気を感じました。2週間前から本格的に準備が始まりましたが、学校から帰って夕方談話室に集まり、それぞれ露店の看板作りや装飾の準備など空いた時間はほとんど作業に費やしていました。子どもと職員があれこれ意見を出し合ったり、互いの作業を認め合ったりする姿がたくさんあり、常に前向きな雰囲気がホームに満ちていました。私自身も準備をされていてとても楽しく、時間を気にせず取り組んでしまいました。中高生たちとの書道パフォーマンスも今回初めてダンスなど振り付けが入るなど難易度がぐっと上がりましたが、毎日の練習の中で子どもはもちろん職員もどうしたら上手くいくかを考え、自主練をする人も多く、日に日に形になっていくことがとても



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

嬉しかったです。また、まごころの小学生2人も入場門などの準備を手伝ってもらった慣れない手つきで一生懸命作業をしてくれて、それ以降学校から帰るとまず「今日は何か手伝いある？」と聞いてきてくれました。今日は無いから大丈夫だよと伝えると「えー！なんで一やりたかった」と本気で残念がっている姿がとても印象的で、こんなに素直に意欲を見せてくれるんだと改めて二人のいい所を知ることができました。二人が手伝ってくれたもの



が入場門の一部になって、とても良いものができたと思います。また、前日準備の時、何人かで入場門の装飾をしている時、高校生のUさんに「なんか先生いきいきしてるね」と何気なく言われたことが心に残っています。そう言われて改めて自分自身が楽しんで準備していることを実感しました。そういうやりとりが自然にできるホームの空気もすごくいいなと思いました。そして当日の朝、子どもたちの表情や雰囲気 genuinely 明るく楽しそうで、これはいい行事になるだろう



と感じました。書道パフォーマンスも練習の成果を十分にだして堂々と発表することができ、達成感を味わうことができました。その後のアトラクションや飲食の部では、私は年中のKくん、年長のAちゃんと回りましたが、体育館に入った瞬間の表情から本当にわくわくしていることが伝わり、私も一緒になって楽しむことができました。いつもふざけて「やりたくない」とあまのじゃくな発言をしてしまうKくんから一回もそういった言葉が出てこず、むしろ「ジェットコースターまたやりたい」「バスケットボールが好き」とずっと素直な言葉が出ていました。また愛育園祭が初めてのAちゃんも常にニコニコしており、心から楽しんでいる様子が伝わりました。お神輿の時にちょっと恥ずかしそうに「わっしょい」と言っている姿がとても良かったです。まだまだ良かったことが書ききれないほどあります。まごころホームみんなで協力して、準備から当日まで前向きに取り組めてよかったです。

調理室だより

調理員 K・N

空気も澄んでさわやかな秋風が広がり、ようやく秋を感じられるようになりました。りんごもたくさん頂きました。

(令和6年11月10日発行 月刊「円福」530号付録)

医者いらずとまで称される、真っ赤なりんご・黄色のりんごと元気がいただけます。園の畑でもたくさんのさつまいも・ほうれん草など収穫され、味噌汁・煮物・おやつなどのメニューに入ります。

またこれからは寒暖差で子供達の体調も心配です。食事作りの私達も新たな季節に備えてウイルスに負けないように気をつけて頑張りたいと思います。

10/20 ホーム食

あおぞらホーム

- ・チキンタツタバーガー
- ・ライスバーガー
- ・ポテト
- ・シェイク

まごころホーム

- ・手作りピザ
- ・パスタ
- ・ティラミス
- ・サラダ

10/31 ハロウィンおやつ

お芋とチョコのマフィン

11/4 愛育園祭

豚汁・おもち（あんこ・ごま・きな粉）

《露店メニュー》チュロス・パスタ揚げ・から揚げ棒

今年度は、まごころ中高生とまごころ職員による露店メニューも新しくなり、何度も試作を重ね、前日までの仕込みや当日の調理の手伝いをしました。どれも試行錯誤した甲斐があり、とても美味しいものになり、来てくださったお客様にも喜んでいただきました。